

## 築上町立学校の適正配置に関するアンケート調査結果について

### 1. アンケート調査概要

実施期間	令和5年2月8日（水）～令和5年2月28日（火）
依頼方法及び対象者	・連絡システム「すぐーる」配信 [対象者：令和4年度築上町立小中学校児童生徒保護者] 延べ1,129件 ・アンケート用紙（紙媒体）郵送 [対象者：令和4年度未就学児保護者] 299件
実施方法	・Webアンケート [対象者：令和4年度築上町立小中学校児童生徒保護者] ・Webアンケートまたはアンケート用紙（紙媒体）返送 [対象者：令和4年度未就学児保護者]

### 2. アンケート調査回答結果

回答者	計画実施したほうがよい	計画実施はやむを得ない	どちらともいえない	計画実施すべきでない	計
令和4年度 築上町立小中学校児童生徒保護者	88件	126件	145件	20件	379件
令和4年度 未就学児保護者 (小中学校児童生徒のいない世帯)	44件	37件	27件	7件	115件
計	132件	163件	172件	27件	494件
割合(率) ※1	26.7%	33.0%	34.8%	5.5%	

※1…回答件数に対する割合(率)

### 3. ご意見等に対する教育委員会の考え方

アンケート実施に伴い、いただいたご意見等について6項目に集約し、教育委員会の考え方を記載しています。  
ご協力誠にありがとうございました。

## ご意見等の概要

## 教育委員会の考え方

### ① 基本計画の策定について

- ・ 反対ではないが、説明が不十分のため納得出来ない。子どものことを第一に考え安心して地域全体で見守り育てていける環境があれば良いと思う。また名称をもっとわかりやすくし、広い世代にこのことを知ってもらい色々な人の意見を聞いてみたい。今の子どもたちが将来、ここで子育てをしたい!と思える教育環境を整えてあげたい。
- ・ 結論ありきで住民は置き去り。説明会も一方的で、意見を取り入れる姿勢は全く感じず不誠実である。町の職員は町外に住んで戻って来ない中で、状況が好転するはずないでしょ。
- ・ 資料を見る限り、将来的に各中学の入学人数はかなり少数であることが見られます。無駄に新規建設等を行わず、既存の老朽化した学校をうまく活用できる方法をもっと少し具体的に検討されるべきだと思います。旧岩丸小学校の主な管理は、地域であるというように聞きました。児童・学生は減りますが、地域の住民も減少します。そうなれば、取り壊しとなり、費用も増えますし、再利用が出来ずに、空き地の管理はどかが?となります。狭い箱の中で協議されるのではなく、もう少ししっかり協議していただきたいと思います。
- ・ 安易な考え、メリットばかり見ないでください。デメリットやリスクがあることもしっかり見て、強行突破するのはやめて下さい。財政の建て直し、少子化対策、税金の使い方。道路の工事は必要ですか?もっとやれることをやってから、財政の話をしてください。犠牲になるのはいつでも子どもです。大人の不都合で子どもたちはその狭まれた世界で生きていけないといけません。子どもを育てにくい地域にするのであれば、転出も検討します。
- ・ 学校再編について、新聞の報道で知り、今回のように計画の情報が町民に伝わるまでに時間がかかりすぎたと思います。入学予定者として、先行き不透明で心配でした。HPをもっと活用して情報発信していただけると、こちら準備できることがあると思います。(小規模校に通わせる前提で小規模園に通わせました。このような流れが分かっていたら、ある程度、人数がいる園を選択しました。)
- ・ 令和5年度の児童入学前に、希望をとるべき。指定された小学校に行くか、合併後の小学校に行くか。令和9年度に合併となれば、適応できる児童もいれば、そうでない児童もいる。小学校説明会が終わってから策定内容を公に説明するのはいかがなものか。
- ・ 小規模特認校は築城地区にも必要である。統廃合に関しても、築城地区は支所を活用し、プールは下城井を使うようにできないか?町政に関しては計画性がなく、無駄に箱物を作っている。下城井地区の学童施設、プールはまだ新しい状態なのを活用しないのか?元々見通しがたっていたのなら、あまりにひどすぎる。自治区が寄付した遊具ができたばかりなのに。
- ・ まず、現状説明会の際にこちらが質問をしても「今後検討して行く予定です」や「資料がありません」等十分な回答を得られてない状態であるのにまたこのようなアンケートを繰り返す必要が理解できない。納得できていないのに「どう思われますか?」と聞かれても答えは変わらない。
- ・ 子供のコミュニケーション能力向上や社会への耐性、豊かな人格形成のため、子供の頃にしかできない経験や体験のためには、ある程度の人数が必要で、少子高齢化や過疎化が進んでしまっているので、この計画はやむなしで、賛成です。集団登下校が難しいような地域の子供も安全に通える体制をお考えいただきたいと思います。

近年の児童・生徒数の減少傾向は著しく、また、GIGAスクール構想などの情報化の加速度的な進展により、教育を取り巻く環境は大きく変化しており、新しい時代に対応した学校教育に取り組む必要があります。また、これからの社会を生きる児童生徒には、多くの友達や教職員との交流を通じて、互いに切磋琢磨するとともに、多様な意見や考えに触れ、その中で主体性や探求する力を高めていくことが、これまで以上に求められています。

教育委員会としては、現在の著しい少子化のなかで、活力ある学校をどう作っていくのか、また、これからの「令和の日本型学校教育」を実現するためには、一定の学校規模に再編する必要があるという考えのもと、令和2年11月には、「新しい時代に向けた築上町小中学校のあり方について」を取り纏め、学校規模の適正化、義務教育9年間の継続した学びの重要性について整理しました。

また、令和4年2月には、「築上町小中一貫教育基本方針」を策定し、築上町が目指す小中一貫教育の方針を定めたところで

こうした、これまでの教育委員会の会議や教育委員会が主催します「コミュニティスクール連絡会」等での議論を踏まえ、また、総合教育会議の中でも、町長と学校の再編について意見交換を行いながら、令和4年10月に「築上町立小中学校適正配置基本計画」を策定したところです。

適正配置の実施については、保護者・地域の方のご意見を踏まえ実施していく方針です。

今後は、各学校の学校運営協議会等のご意見を頂きながら、また、別途、各学校の学校関係者、保護者、地域住民の方で構成する「適正配置推進委員会（仮称）」を新たに立上げ、ご意見を頂きながら、進めていきたいと考えています。

また、アンケート結果や各会議の結果等について、広報誌及びホームページ等で公開し、より一層のご理解に努めるとともに、必要に応じて関係者を対象とした説明会・意見交換会等を実施してまいりたいと考えています。

## ご意見等の概要

## 教育委員会の考え方

### ② 小中一貫教育ならびに小中一貫校について

- 一貫校の計画は時代を考えると仕方がないが、もっと早い段階から先を見据えた準備が必要であったと感じる。過疎化していく築上町の山間部を考えると、一貫校はあえて山間部と主要町の間に作り、地域の人々が集まるコミュニティ広場にすることもできたはず！何もかも、主要町に集めるのは一般的な考えだが、過疎化する町だからこそ一貫校が一石を投じるような改革になってほしい。
- 基本的には賛成だがマンモス校になり生徒一人一人に目を向けられるかは課題だと思います。
- 小学生と中学生の学びの場が、一緒になるのは少し心配です。
- 学力とか進学とかについての、先進的なものはあまり必要なく、学校が子供のためにある前提で、地域の学びの場であってほしい。何故学ぶのか、学ばなければならないのか、哲学的な教えがあったらいいなあ。
- 児童数が増えるメリットが沢山あるとは思いますが、増えることによって、先生方の目が見えない部分も増えて、いじめなどが、わからないところで、おこったりしないような環境を、願います。
- 八津田小学校だけを建て替えて、他校区から苦情があったので仕方なくという感じが否めない。建て直すなら八津田小学校も一貫校に加えては？よそ者のように、他校区の子どもたちが馴染めなかった中に、中学校から加わる八津田小学校の子どもの気持ちを置き去りにしないで欲しい。
- 大規模なお金を使ってすることなのでしょうか？9年間のプログラム編成だと八津田小学校の子はどうなるのでしょうか？そもそも、八津田小学校に入れたくて八津田地区に引っ越しましたが、9年間プログラムとかになると八津田の子だけが別プログラムになるのですか？それなら、八津田小学校に通いながらも9年間を見込んだ椎田地区と同じような授業形態をしてほしいと思います。別々の場所で難しいかもしれませんが、学校同士で連携をとってほしいなと個人的思います。
- 教科ごとに習熟度別のクラスにするなど、子供の能力、興味に合わせた教育が受けられると良いと思います。
- 子供達の負担にならない、のびのびと学習できるような教育環境を整備してほしい
- 体育館、中庭、図書室など、休み時間に子供たちが楽しめる環境を作っていただきたい。
- 小学校が統合されるのは良いと思う。小中一貫教育にはあまり良さを感じられない。
- 計画までの期間が短かすぎて、唐突すぎる。令和9年統合計画に関係する児童の父兄（0歳～全て）には、きちんと周知すべきであり、意見を聞くべき。児童数が今後さらに減少するのに、学校をこれ以上建てる必要があるのか、議論する必要があると思う。既存する学校を、残せるところは最大限に活用した方が良くと思う。
- まだめずらしい小中一貫をいち早く実現して、興味をもってくれた方が、築上町に移住してくれると子供も増えていいなと思います。良い案は積極的に取り入れて町が活気付けば嬉しいです。

教育委員会では、小学校と中学校が目標を共有し、小中の教職員が一体となって、学習指導や生徒指導等に組織的、系統的に取り組み、義務教育9年間を連続性のある指導を行うことで、児童生徒にこれからの社会を生き抜く確かな学力と社会性を育成する教育を実践するため、令和4年2月に「築上町小中一貫教育基本方針」を策定しました。

小中一貫教育で期待される教育効果としては、以下のとおりです。

- ①小中学校の一貫した指導による、児童生徒の「確かな学力」の定着・向上
- ②「10歳の壁」・「中1ギャップ」の克服・解消
- ③小・中学校教職員の連携による指導力の向上
- ④キャリア形成を意識した系統性・連続性に配慮した9年間を見通す教育家庭の編成
- ⑤小中一貫した指導方針による児童生徒及び保護者の「安心感・信頼感」の向上 など

本基本計画も、この小中一貫教育基本方針に基づき、両中学校を核として、小中一貫教育校を形成していくこととしています。

小規模特認校として存続する八津田小学校についても、中学校入学段階において教育課程における格差が生じないように常時連携してカリキュラムを作成し、9年間の一貫した学習や交流活動を行うこととしています。

なお、設置する小中一貫校については、小学生、中学生の生活環境、学習環境に配慮した施設整備を行います。

ご意見等の概要

教育委員会の考え方

③ 小規模特認校（八津田小学校）について

- ・ 八津田小学校はどのようになるのかいまいちわかりにくい
- ・ 9年間の一貫教育が受けられない、他の校区の人達は、一貫となることでカルチャーショックなど何か弊害などは出ないのかは心配です。少数派の子となるわけですよね？
- ・ 児童数減少の為、小中一貫校は仕方がないが、八津田校区の児童はそのまま八津田小に行くか小中一貫校に行くかの選択肢があり、児童の親は選択に悩むと思う。なぜなら、中学校から合流し、学校に馴染めるのかと不安になるからです。また、小学校から小中一貫校に通う選択をした場合、通学距離が遠くなる為、児童が安全に登下校出来るのか不安になるからです。
- ・ 人数が少ない八津田小学校に入学してもクラブ活動や総合的な活動の時間等で他校と関わる機会があると嬉しいです。
- ・ 小中一貫校の形をとる場合、八津田小学校の児童が密に椎田中や椎田小の児童生徒と関わる機会を設ける必要が大いにあると考えられる。
- ・ 今春、私の子供は小学校1年生となり、八津田小学校へ通学予定です。八津田小学校は「小規模特認校」ということで、小・中一貫校の対象外のようなのですが、中学校になったら椎田又は築城どちらかの中学校を”選択する”というかたちになるのでしょうか。また、椎田の方は一体になった時の使用学校を具体的に明記していないようですが、未定でしょうか。（築城の方は「現・築城小学校を使用や現・築城中学校を使用」と明記しているので）椎田中学校となった場合、建築からかなりの年数が経過しているので、改修工事等の検討はされているのでしょうか。八津田小学校を卒業したら、椎田側の中学校に通う子が多いと思うので、その点が心配です。また、もし一貫校への編入を希望した場合、その交通手段は確保していただけるのでしょうか。（例：八津田→築城への編入希望した場合、その足（バス？）とか出してもらえるのか等）

本基本計画では、令和14年度以降、新たに建設予定の椎田中学校区の小中一貫校、現築城中学校を使用する築城中学校区の小中一貫校と小規模特認校の八津田小学校の3校に再編整備する計画となっています。

小規模特認校とは、小規模な枠組みとすることで、特色ある教育活動や細やかな指導を行える学校です。

一般的に言われているメリットとしては、

- ①小規模校への通学を望む保護者や児童生徒の希望に沿うことが出来る。
- ②小規模校であることで、学習指導や生活指導においてきめ細やかな指導を行うことができる。
- ③保護者や地域住民との連携により、地域の特色を活かした特色ある教育活動を行うことができる。

デメリットとしては、

- ①学級数が少なく、クラス替えができない。
- ②通学区域が広範囲（町内全域）になるため、児童生徒の通学の負担が発生する。

などです。

本基本計画での八津田小学校の位置づけとしては、どうしても規模が大きくなった再編後の学校に馴染めないお子さんや、小規模学校への通学を希望するお子さん向けに、小規模校のメリットを活かした教育の展開が出来る学校として残していく計画としています。

また、八津田小学校区のお子さんは、両小中一貫校に通えるような制度にしたいと考えています。

なお、小規模特認校として存続する八津田小学校ですが、施設分離型の小中一貫校として、両小中一貫校と連携した教育を行います。

ご意見等の概要

教育委員会の考え方

④ 通学・安全の問題について

- ・ 遠距離通学になると、習い事などに影響がでるのでは？
- ・ 通学手段が確保され、子供に負担がかからない、住んでいる地域での差が生まれにくいような方策があれば良い
- ・ 少子化で統合は仕方ない。スクールバスが出るなら長距離子供に通学させるより安心感がある。
- ・ 遠くなるので通学バスを採用してほしい。
- ・ 過疎地域の家庭に負担にならないように配慮してほしい。
- ・ 犯罪や事故防止の意味も兼ねて、遠距離通学の生徒を対象としたスクールバスの配置があってもいいと思います。
- ・ 統廃合を行うことにより、遠距離通学の児童も増えると思う。町がバス等を出したりサポートすべきと思う。今後、共働き家庭の増加に伴い、学童の需要が高まる。小学校からすぐに行ける距離にしたり、バスなどで送迎したりサポートしてほしい。共働きで仕事をしている家庭向けに、小学校の早朝預かりをしてほしい。(まだ通っていない築上町は、どのような取り組みがあるかわからないけど、他地域社会では朝の鍵っこに悩む家庭が多い)
- ・ 長距離通学になる子が増えると思います。毎日親が送迎するのは負担が非常に大きいです。各地域に出るスクールバスの運行なども計画に入れてはどうでしょうか。
- ・ 児童生徒の登下校(特に小学校低学年)の負担は増えることは確定するかと思います。その点に関しての配慮はしっかりと整えて頂けるとありがたいです。☒

本基本計画では、通学区域の変更に伴い、遠距離通学となる小学校児童については、登下校時における安全確保と負担軽減の観点から、スクールバス運行等の通学方法を検討します。スクールバスの運行ルート、運行回数、運行時間、停留所の設置、バスの大きさ等については、地域の実情や学校・保護者等の要望を踏まえて検討することとしています。「P8 5 適正配置後の通学」

また、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き(文部科学省)」では、徒歩や自転車による通学距離としては、小学校では4km以内、通学時間については、一時間以内を、おおよその目安(基準)として妥当であるとされています。

これらを踏まえ、今後、各学校の学校関係者、保護者、地域住民の方で構成する「適正配置推進員委員会(仮称)」を新たに立上げ、ご意見をいただきながら安全で安心な通学条件を確保できるように努めてまいりたいと考えています。

なお、中学校生徒については、現行の通学方法とし、築城中学校のスクールバス運行は引続き行います。

通学区域が変更になることから、通学路の危険箇所を把握し、外灯の設置や横断歩道の整備など安全確保にも努めてまいります。

## ご意見等の概要

## 教育委員会の考え方

### ⑤ 中学校2校体制について

- ・ 少子化に伴い小学校の統合は必要と思いますが、小中一貫校より、築城・椎田中学校の統合をしてほしかったです。☒  
学生、教師の増員により、学力面や部活面での充実が図れたのではないのでしょうか。
- ・ 築上町の児童数が少ないのに、中学校も1校で充分ではないかと思えます。築城地区、椎田地区と区別せずに築上町として全体を見直していったほうが良いのではないかと思えます。
- ・ 将来の生徒数で考えると中学校は1つでよいのでは。無駄な施設を作って維持と借金をかかえる必要なし。1クラスでは学校行事や部活動に支障が出ると思えます。中学校1校に小学校3校程度が適当だと思います。(分けると1校あたり30名少しぐらいになる)
- ・ 財政面、人材面を考えると、町内一校でも良いと思えます。再編は遅すぎるくらいです。
- ・ 基本目標に「持続可能な社会の創り手」とあるが、町内2つの小中一貫教育すら持続可能とは考えられなく、町内を1つの小中一貫校へと考えるから
- ・ 椎田と築城に分けて小中一貫校にせず、築上町小学校・築上町中学校と小・中学校分けた方がいいと思えます。中学生は、小学生がにぎやかに遊んだりしている環境の中で、テストや受験もあるのに集中して勉強できるのでしょうか。小中一貫校に関しての子供たちにアンケートや説明等はしているのですか？学校に通うのは子供たちなので、子供たちの意見を尊重すべきではないのでしょうか。行政の都合でとか、保護者が便利になるからではなく今後、築上町で育つ子供たちのための学校づくりをしてほしいです。
- ・ 築上町で小中一貫校を1つだけ建てたらいいと思えます。3つもありません！
- ・ 小学校は現在の八津田小に、中学校は現在の築城中に統合するのが良いと思う。椎田中に一貫校を建設する予定とのことだが、よりコストのかからない方法を検討してほしい。
- ・ それぞれを築上小中学校椎田分校・築城分校にして、放課後の部活動をどちらかの学校に移動してチーム作りが出来るというのはどうでしょうか？

本基本計画では、椎田中学校、築城中学校の両中学校を核として、「中学校区」での再編計画としており、中学校の統合はしない方針で計画を定めています。

理由は、築城中学校の建設の際に、保護者アンケートを実施しましたが、結果は、8割の保護者が中学校の2校体制に賛成しており、その結果を基に、椎田中学校、築城中学校という2校体制を町の方針として決定し、築城中学校の建設をした経緯があります。築城中学校が平成29年度に完成し、現在5年しか経過しておらず、現時点での中学校統合については、保護者の混乱を招くことも予想されます。

また、本基本計画では、基本的な考え方として、文科省の指針のもと、中学校の適正配置基準は、「1学年3学級」としています。結果として、配置基準に満たないことで、教員配置に対するデメリット等、教育委員会としても想定される課題は整理を行い、対策を検討する必要があると認識しておりますが、先のアンケート結果の保護者の意見は尊重すべきものであり、また、町内に中学校を2校設置することは、生徒間トラブルの発生時や、不登校問題への対応等、大きく寄与するものと判断しています。

将来的に、著しく生徒数が減少し、学習面及び生活面で支障が生じる様な状況が見込まれる場合は、改めて、保護者・地域住民の皆様に意見を求め、統合について、議論していく必要があると判断しています。

また、小中一貫校では、教室配置を工夫する等、出来るだけ良好な学習環境の提供に努めます。

## ご意見等の概要

## 教育委員会の考え方

### ⑥ その他

- 校区以外に通っている子供達をまず何とかして欲しい。学校がなくなるとさらに過疎化が進み若い人がますます住まなくなると思う。もう少し保護者や地域の人と連携しながらきちんと納得できるような形で進めて欲しい。
- 入学した学校を卒業できないのは悲しいし寂しい。もし環境の変化にうまく馴染めず学校に行かなくなったら困る。学校がなくなるなら子供の負担を考え、最初から築城小、椎田小に指定校を変えたり転校する人もいると思う。それがさらに生徒数の減少につながると思う。実際、上の子が卒業したら転校させるという声も出ています。色々なタイプの子供がいるので先生の目が行き届く小規模校も必要だと思う。
- 上城井小の運動会は保育園との合同での開催。保育園との交流もあるので保育園との連携関係も考えてほしいです。
- 廃校になる学校をどのように利用するのかを考えた上で再編して欲しいです。
- 児童生徒の安全のため、校区周辺に防犯カメラを増やしてほしい。
- 町の規模に対して学校数が多すぎると思います。校舎の維持管理の費用の面から見て数を減らすことにはいたしかないのかと。しかし、基本計画書の中に築上町の学校の現状と課題の項目に「学年1学級の単学級や複式学級等、1学級の人数が減ることにより、多様な見方・考え方に触れる機会や互いに認め合い、協力し合い、切磋琢磨し合える機会が減少しています。そのため、集団における社会性や協調性等を身に付けさせることが難しくなっています。」という課題が、学校を減らすことで解決するとは思いません。基本計画書の冒頭にGIGAスクール構想の実現に取組始めていると書いてありましたが、それならば少人数クラスでもアプローチの方法があるのではないかと思います。学校を減らすことと、子どもたちへの学びの方法は別に考えた方がいいのではないのでしょうか？また、少人数クラスの方が先生の負担は少ないのではないのでしょうか？学校運営面での改善もこの適正配置だけで終わらせないでほしいです。先生方の負担軽減を本気で取り組んでいただきたいです。子ども一人一人に向き合う時間の確保をするにはどうすべきなのかの計画を立ててほしいです。ほんの一例ですが、連絡して休んだ子どもにも一人一人に毎回担任から連絡がきます。登校拒否や家庭環境に問題のないただの風邪の場合は必要ないと思います。また、すぐる配信しているのに学級通信はペーパー配布。本当に必要なのでしょうか？これこそGIGAスクール構想からかけ離れている気がします。他にも山のように先生方の負担を強いていることがあると思います。一度先生方や保護者からアンケートを取っていただきたいです。「集団における社会性や協調性等を身に付けさせる」課題においては、地域との関わりが大切なことだと思われます。適正配置が行われることでその機会が減るのではなく、学校(校舎)づくりを地域の人との関わりを考えて作ることを(複合施設や施設開放など)考えて欲しいです。最後に適正配置とは、少し離れますが、計画書の中に課題としてあったので質問です。前にも出している「多様な見方・考え方に触れる機会や互いに認め合い…」という点なのですが、これをどこまで教育委員会、学校は考えているのでしょうか？ジェンダー平等の考えはないのでしょうか？中学の校則に男の子はツーブロック禁止などの校則があると聞いたことがあります。男はこの髪型、女はこの髪型。これこそ差別ではないのでしょうか？男はこうあるべき女はこうあるべきと校則が言っているようなものでは？制服は選べます。と言われてもトランスジェンダーの子が堂々とスカート履けると思いませんか？選択の時点で制限が生まれています。トランスジェンダーの子達への人権的配慮が中学校ではとても欠けているように思われます。その点についてもどのような考えなのか教えていただきたいです。

#### ○指定学校変更について

指定学校以外の学校への就学は、築上町指定学校変更取扱規則に基づき、教育委員会が審査し、可否を決定しています。個々のお子様の特性や保護者の就労に関する事など許可条件は限られており、今後も厳正に審査を行ってまいります。

#### ○幼保小連携について

小1 プログラム等の課題もあり、幼保小の連携については、これまで以上に取り組んでまいります。

#### ○廃校した学校の跡地利用について

小学校は、子ども達の学びの場としてだけではなく、地域コミュニティの集う場、災害時の避難場所等の機能を備えています。施設によっては、老朽化が進んでいますが、どの様な形で跡地・施設を利用していかについては、今後、地域の方々の意見を頂戴しながら、教育委員会だけではなく、まちづくり担当部局、災害担当部局と共に、検討してまいります。

#### ○防犯カメラの設置について

再編に伴い、通学区域が変更になることから、通学路の危険箇所を把握し、関係機関と協議を行い、児童生徒の安全確保に努めてまいります。

#### ○子ども達の学びについて

本基本計画は、学校数を減らすことが目的ではなく、児童生徒に、「多様な見方・考え方に触れる機会や互いに認め合い、協力し合い、切磋琢磨し合える機会」を提供するため、一定の学校規模に再編することを目的として策定したものです。

また、GIGAスクール構想によって一人一台端末の整備が一気に進むなど、児童生徒の教育環境におけるデジタル化が大きく進展し、デジタル技術の良さを生かした多様な教育活動が日々の実践のなかで取組まれています。

これらの教育環境の整備を行い、児童生徒一人一人の学習進度や興味・関心等に応じたきめ細やかな学習や、多様な意見を共有しながら考えを深める学習といった「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることも目的としています。

## ご意見等の概要

## 教育委員会の考え方

### ○教職員の負担軽減について

教育委員会では、「教師の専門性を生かしつつ、授業やその準備に集中できる時間、教師自らの専門性を高めるため研修の時間や「教職員が子どもと向き合う時間」を十分に確保し、学校教育の質を維持・向上させ、質の高い教育を実現する」ことを目的として、令和3年3月に「築上町立小中学校における働き方改革に係る指針」を策定しています。

これまで、本指針に基づき、業務改善、勤務時間管理の徹底及び教職員の意識改革に取り組んでまいりました。

今後も引き続き教職員の働き方改革に向け、取り組んで参ります。

### ○地域とともにある学校づくりについて

学習指導要領では、学校として目指す資質・能力を児童生徒にどのように育成していくのかを教育課程において明確にし、家庭や地域など社会との連携及び協働によりその実現を図っていく「社会に開かれた教育課程」の実現が重要とされており、教育委員会としても、学校教育活動の展開に当たっては、家庭や地域と連携協力を図っていくことが重要であると考えています。

そのため、今後の学校施設整備においては、学校施設の地域開放や社会教育施設との複合化など、地域コミュニティと学校が密接に連携し、地域住民の皆さまと共に子ども達を育むことが出来る様な施設整備に努めてまいります。

### ○子ども達への人権的配慮について

校則は、児童生徒の安全確保や学校の規律や秩序の形成のために、大きな役割を果たしています。しかし、過去に多くの学校で男子生徒の髪型が丸刈りから長髪へ移行したように、その時々の社会情勢や価値観に応じて、見直されていくものであり、本町においてもそういった観点から、検討してまいります。

同時に、性的マイノリティへの偏見や差別の解消とともに、その他の人権問題にも主体的に向き合おうとする知的理解や人権感覚の育成に向け、人権学習の充実にも努めてまいります。